

資料2

報告第2号

令和7年度利用促進策の実施状況について

【項目】

- 1 利便性の向上
- 2 駅を中心としたまちづくり
- 3 地域鉄道など他の交通事業者との連携
- 4 地域に親しまれる鉄道への転換

1 利便性の向上

(1)しきぶ駅の開業(3月14日)

・ハピラインふくい開業後、**初**となる**新駅「しきぶ駅」**が**武生－王子保間**に開業

下り:30本/日、上り:34本/日

・**武生商工高校の通学・帰宅時間に合わせた列車設定**

通学時 下り:3本、上り:3本 帰宅時 下り:3本、上り:3本

・朝方は多くの利用が想定されることから、**上りの快速列車を停車**



4月 しきぶ駅 **利用者数 13,025人** (1日あたり434人)

※想定利用者1日あたり285人

- ・自宅や高校からも近く使い勝手が良い。福井市に遊びに行きやすくなった。
- ・今まで武生駅を利用していたがすぐ近くに駅ができたのでありがたい。



開業式典テープカット



しきぶ駅、駅前広場全景



開業後の駅の様子

1 利便性の向上

(2) 区間快速の運行

- ・夕方の通勤通学時間帯に「**区間快速列車**」を運行
- ・停車駅を増やすことで、ご利用者の「乗れる」機会を拡大

【停車パターン】

種別 \ 駅名	敦賀	南今庄	今庄	湯尾	南条	王子保	しきぶ	武生	鯖江	北鯖江	大土呂	越前花堂	福井	所要時分
普通	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	約54分
区間快速 (夕方4本)	○	—	○	—	○	—	○	○	○	○	○	○	○	約49分
快速 (朝方3本)	○	—	△ (一部停車)	—	△ (一部停車)	—	△ (一部停車)	○	○	—	—	—	○	約41分



区間快速が止まる駅の利用者数増加(4月実績)

駅名	利用者数 (2026年4月)	利用者数 (2025年4月)	増減数	前年比
今庄駅	3,585人	2,856人	+729人	126%
北鯖江駅	24,316人	21,945人	+2,371人	111%
大土呂駅	12,170人	11,602人	+568人	105%
越前花堂駅	30,054人	28,585人	+1,469人	105%
合 計	70,125人	64,988人	+5,137人	108%

ダイヤ改正の
効果を確認

1 利便性の向上

(3) 多客対応(臨時列車の運行)

- ・多客期間や多数の参加者が見込まれるイベントの開催時等、通常ダイヤでは一時的に輸送力が不足する恐れ



【鯖江駅】サンドーム福井コンサート



【福井駅】イベント開催(花火)



【武生駅】イベント開催(花火)



臨時列車の運行により、一時的に輸送力を強化

臨時列車の運行実績

<多客期間>

- ゴールデンウィーク期間
- お盆期間
- 年末年始期間

4日間(各日4本)
6日間(各日4本)
6日間(各日4本)

<イベント開催時>

■サンドーム福井コンサート	44本
■今庄そばまつり	1本
■花火大会(敦賀・武生・福井)	9本
■ふくい桜マラソン2026	11本

等

1 利便性の向上

(4) イベント列車の運行

・県内外の方に幅広くハピラインの愛着を持っていただき、鉄道観光を進めるため、魅力的なイベント列車等を運行

【運行実績】

① 婚活列車

日 時：6月28日
運行区間：福井～今庄(往復)
参加人数：57名
4組マッチング

② クラフトビール列車

日 時：11月1日
運行区間：福井～敦賀(往復)
参加人数：55名



ハピ婚チラシ



車内でのトークタイム



今庄駅周辺の散策



クラフトビール列車チラシ



車内の様子



オリジナル缶ビール

- ・福井県の補助を受け、**敦賀駅に乗換用IC改札機を設置(令和8年3月11日供用開始)**
- ・連絡運輸範囲を超えてハピラインふくい線とJR線を乗り換える際に、**敦賀駅連絡通路**での交通系ICカードの精算可能

- ・お客様から乗換がスムーズになり便利になったとの意見が多数あり(SNS等)
- ・各駅において連絡運輸を超えたお客様のICカードエラーの処理が減少傾向



定期外	令和6年度	⇒	令和7年度
定期	50.7%	⇒	55.9%
合計	83.7%	⇒	87.7%
	72.0%	⇒	76.4%

1 利便性の向上

(5) 誰もが利用しやすい環境づくり

② 北陸トンネル等での電波遮へい対策事業

- ・(公社)移動通信基盤整備協会が令和7年度から総務省の支援制度を活用し工事に着手
- ・**今庄トンネル、湯尾トンネルは令和8年秋頃**から、携帯電話サービスが利用可能となる予定

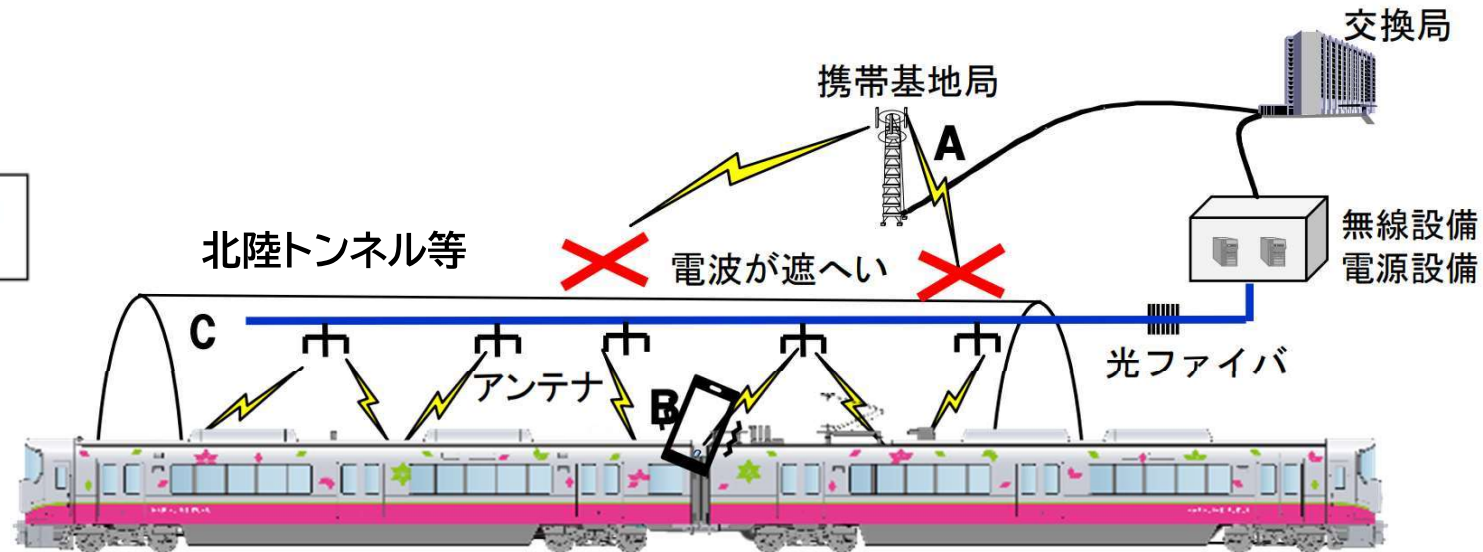
【事業イメージ】

<負担割合>

国 1/3	鉄道事業者 1/6	公益社団法人等 1/2
----------	--------------	----------------

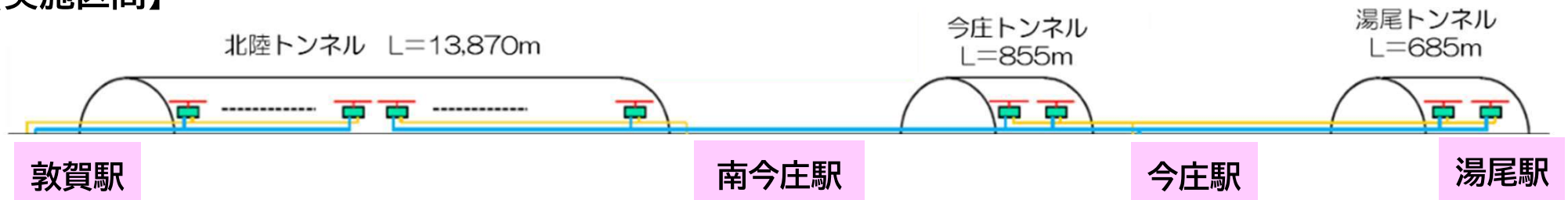
鉄道事業者負担分は
福井県の補助を活用(全額)

※在来線の10km以上の
トンネルの事業は全国初



➡トンネルでも携帯電話サービスの利用が可能
(利便性の向上、災害時の通信手段の確保)

【実施区間】



1 利便性の向上

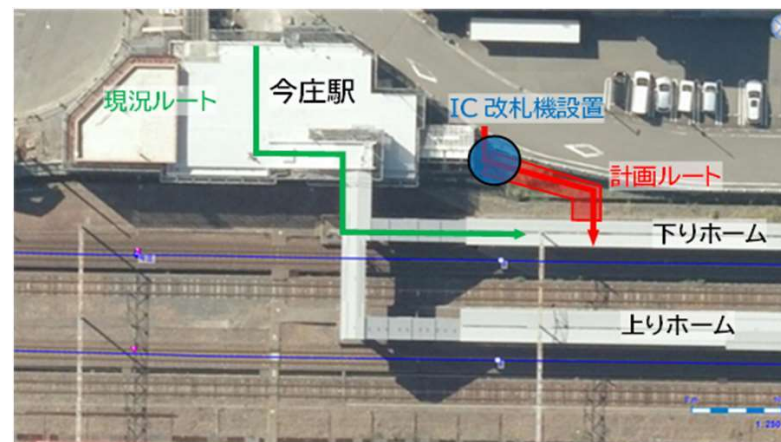
(6) 今庄駅のバリアフリー化

- ・国、福井県、南越前町の補助金等を活用し、改札から下りホームまで階段を使わずに移動できるよう、**新通路を整備(令和8年3月7日供用開始)**

・お年寄りや女性から便利になったとの意見を多数いただいている。



開通セレモニーテープカット



航空写真



新連絡通路



新連絡通路(内部)

1 利便性の向上

(7)福井市 新駅の設置

令和6年度 :新駅基本設計、福井市が道路概略設計に着手

令和7年度 :新駅基本設計を完了 福井市が都市計画道路の都決変更



2 駅を中心としたまちづくり

(1) 既存駅のモデルチェンジ

① 鯖江駅

- ・令和7年6月7日、1階にカフェ、2階にフリースペースがオープン（鯖江市が改修工事を実施）
- ・同年8月8日に2階フリースペースの累計来場者数が1万人を突破し、鯖江市が記念セレモニーを開催

・高校生などから、とても綺麗で落ち着いて勉強できるといった意見をいただいている。



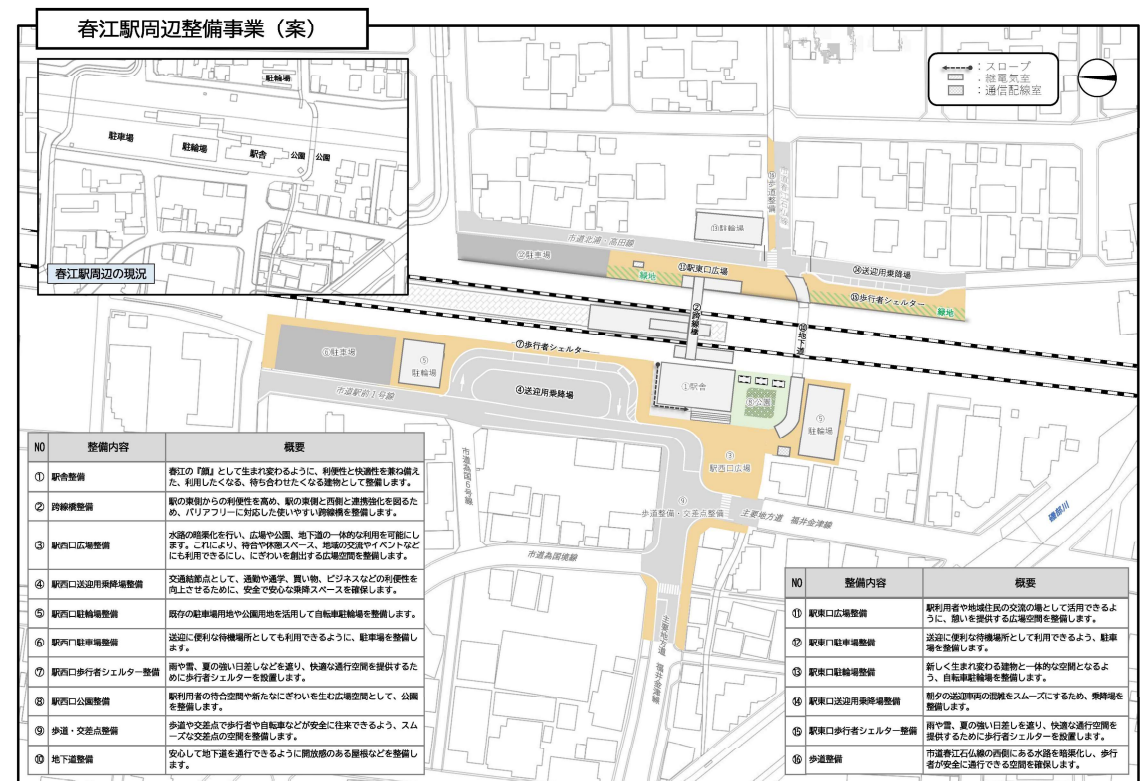
えきライブラリーtetoteオープン



1万人突破記念セレモニー

② 春江駅

- ・坂井市が令和6年3月に「春江駅周辺整備事業(案)」を策定
- ・令和7年度に西口広場の整備に向けた物件補償について、一部地権者と合意



春江駅周辺整備事業(案)

2 駅を中心としたまちづくり

(2) 駅・駅周辺のにぎわいづくり(自治体や地元協議会、民間団体の活動)

① 駅活用社会実験プロジェクト「More.Sta」

- ・森田駅を拠点に新たなコミュニティを形成、物販や飲食店が駅前広場等に出店



【森田駅】More.Sta開催時の様子

② 今庄そばまつり、今庄宿街道浪漫

- ・今庄駅周辺で南越前町がイベントを開催
(そば祭りではハピライン利用者に対しクーポン券を配布)



【今庄駅】今庄そば祭り

【今庄駅】今庄宿街道浪漫

③ 福井ブローウィングスとの連携

- ・公式キャラクターとコラボしたグッズを作製
- ・ハピライン利用者に対し試合会場で使えるクーポン券を配布



【福井駅等】オリジナルステッカー、コラボ企画ポスター

④ 春江駅にアートボード設置

- ・福井工業大学の学生がアートボードを制作し、駅舎の玄関に設置



【春江駅】アートボードの設置

3 地域鉄道など他の交通事業者との連携

(1) 地域鉄道等との連携

- ① 人材確保における連携(福井県鉄道協会)
- ・3社が人材確保等の共通の課題に連携対応
 - ➡各社の経営基盤を強化し、鉄道の持続化

② 交通事業者等との連携

- ・鉄道関連イベントの開催



鉄道ふくいフェスタ2025(令和7年10月25・26日)

③ 企画切符の販売

きっぷ名	概要	発売価格	発売枚数
しきぶ駅開業記念1日フリーきっぷ	令和9年3月末まで使用できる1日フリーきっぷ	大人 1,500円	大人 157枚
ハピラインふくい1日フリーきっぷ	土日祝日・特定期間限定の1日フリーきっぷ	大人 1,500円 小児 750円	大人 9,099枚 小児 363枚
あいの風・IR・ハピライン連携 北陸3県2Dayパス	3社で使える土日祝日・特定期間限定の2日間有効デジタルフリーきっぷ	大人 2,800円 小児 1,400円	大人 22,085枚 小児 362枚



合同就職説明会

見学バスツアー

- ・北陸三県の並行在来線会社による連携



北陸3社連結～つながる北陸～マフラータオル限定販売

4 地域に親しまれる鉄道への転換

(1) 地域活動支援事業【協議会事業】

- ・並行在来線の利用促進などに取り組む地域団体等へ奨励金を交付
- ・令和7年度交付: 3団体 ※残り4団体は、予算を次年度に繰り越し

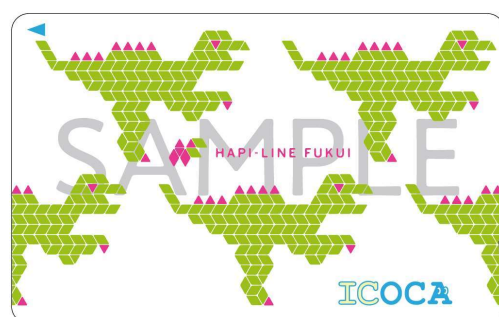


(2) マイレール意識の醸成

- ・グッズやオリジナルICOCAの販売



販売個数: 3,816個



販売枚数: 22,054枚

(3) ハピラインファンクラブ

- ・会員限定イベントの実施

令和7年度会員数
3,269人



武生駅バックヤードツアー



ファンクラブ限定グッズ販売会